



FUJIBO

The Focus on Innovation

第**196**期 報告書

2015年4月1日 ▶ 2016年3月31日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



取締役社長

中野光雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第196期（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益や雇用情勢の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、国内消費は一部インバウンド需要の高まりが見られたものの、生活必需品の値上げに伴い家計の節約志向が強まり、足踏みを続けています。海外では、中国をはじめとするアジア新興国や資源国の経済減速懸念に加え、中東を中心に地政学リスクも高まり、先行きは不透明な状況となっています。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『邁進14-16』において重点事業と位置づけている研磨材事業、化学工業品事業、繊維事業の3事業を中心に営業力、開発力、生産力の強化を進め、あわせて収益力向上のための構造改革に取り組みました。

この結果、当期の連結売上高は前年同期比3,055百万円（7.4%）減収の38,117百万円、営業利益は741百万円（17.0%）減益の3,624百万円、経常利益は746百万円（16.7%）減益の3,724百万円となりました。特別損益には固定資産売却益や減損損失等を計上し、法人税等を差し引いた結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比633百万円（26.6%）増益の3,015百万円となりました。

当期の期末配当金につきましては、経営環境および業績等を勘案し、1株当たり7円とさせていただきますと存じます。

当フジボウグループは、企業価値の持続的拡大を最重要課題として、2014年度から2016年度を計画期間とする中期経営計画『邁進14-16』を策定し、2014年4月よりこれを実行しております。本中期経営計画においては、① 重点3事業の成長加速、② 収

益力あるニッチNo.1企業へ、③ 第4の柱となる事業育成、④ 経営力の更なる高度化を推進し、既存顧客、既存事業、既存製品・サービスの拡大による「連続的成長」の加速と、新規マーケット開拓、第4の柱事業育成、M&Aによる「非連続的成長」の種まきを行い、本格的成長へ「邁進」いたします。

計画実現に向けた施策として、最重点事業である研磨材事業では、最先端プロセス・次世代プロセスに対応した最新の製品評価・検査機器の導入を進め、顧客満足度を高め、高収益分野の拡大を進めております。また、マーケティング機能を活用し、研磨材周辺部材を中心に新規用途需要の掘り起こしを行うとともに、研究開発部門の強化によりユーザーからの喫緊の要望に対応し、売上拡大につなげています。あわせて、受注の拡大に対応するため、フジボウ愛媛株式会社小坂井工場に製造ラインを増設いたしました。化学工業品事業では、柳井化学工業株式会社が、柳井工場内に新工場を増設、設備能力を強化し、10期連続で最高売上高を更新し、事業規模の拡大を進めております。繊維事業では、繊維製品のOEMも含めたブランド再構築による販売チャネルの拡大と、国内外グループ事業会社の素材、加工、縫製など生産能力の活用、および在庫管理強化・物流費用低減などサプライチェーンの効率化により総合的なコストダウンを進め、成長加速に向けた体質強化に取り組んでおります。その他の事業では、第4の柱事業と位置づけております貿易事業、化成品事業への人材をはじめとする経営資源の投入により、生産・販売・管理体制の構築など事業育成に向けた基盤整備を進めております。

計画の進捗による企業価値の拡大の成果については、利益水準にあわせた増配や自己株式の取得などにより株主の皆様への還元を行っております。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



事業の概況



研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、シリコンウエハー用途は堅調に推移したものの、液晶ガラス用途はパネル在庫調整により減少し、ハードディスク用途もパソコンの販売低迷により減少、半導体デバイス用途（CMP）は中国スマホ市場の成長鈍化による半導体需要の減速を受け微減となりました。一般工業用途もユーザーの需要が減少しました。

この結果、売上高は前年同期比1,654百万円（13.7%）減収の10,418百万円、営業利益は975百万円（27.0%）減益の2,636百万円となりました。



化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、機能性材料・農薬中間体を中心に安定生産を継続することができました。加えて、新工場稼働による生産能力増強により、売上高は10期連続で過去最高を更新し、営業利益も過去最高となりました。

この結果、売上高は前年同期比152百万円（1.6%）増収の9,766百万円、営業利益は224百万円（47.8%）増益の694百万円となりました。





繊維事業

繊維事業は、インターネット、TVショッピングなど新規チャネルでの販売は拡大しましたが、量販店、百貨店では売上回復に至りませんでした。主力の定番商品の販売とOEM製品への取組みに注力するとともに、大幅な在庫削減による物流費用の低減と、国内外のグループ内素材調達・生産機能活用によるコストダウンを進めました。

この結果、売上高は前年同期比756百万円（5.1%）減収の14,126百万円、営業利益は29百万円（12.3%）増益の264百万円となりました。



その他の事業

アジアから中南米への輸出をメインとする貿易部門では、農業用機械の輸出が増加しましたが、カリブ海の一部地域の経済減速に伴い、車輛およびタイヤなど自動車関連の当該地域への輸出が減少しました。化成品は、新規用途として取り組んでいる医療機器用部品は拡大しましたが、デジタルカメラ用途が回復せず苦戦しました。精製は、原料となる廃液の減少が続きましたが、エネルギー費を中心に溶剤再生コストの削減に取り組みました。

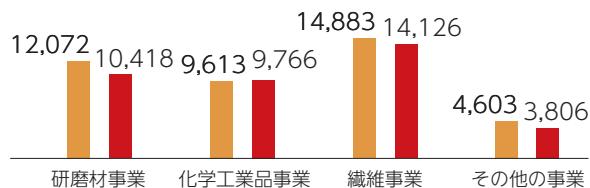
この結果、売上高は前年同期比797百万円（17.3%）減収の3,806百万円、営業利益は22百万円（46.2%）減益の26百万円となりました。



売上高

(単位：百万円)

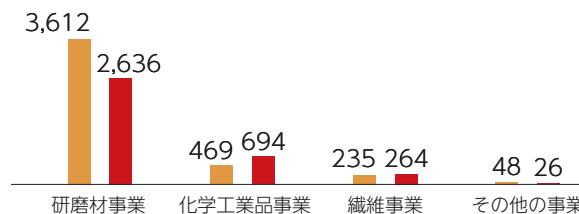
■ 15年3月期 ■ 16年3月期



営業利益

(単位：百万円)

■ 15年3月期 ■ 16年3月期



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	2016年3月31日 現 在	2015年3月31日 現 在		2016年3月31日 現 在	2015年3月31日 現 在
資産の部	45,858	48,677	負債の部	19,412	23,846
流動資産	19,135	19,756	流動負債	11,599	14,987
現金及び預金	4,139	3,239	支払手形及び買掛金	4,774	4,751
受取手形及び売掛金	8,566	9,652	電子記録債務	319	505
商品及び製品	2,686	3,224	短期借入金	3,620	4,426
仕掛品	1,989	1,577	リース債務	110	97
原材料及び貯蔵品	1,180	1,268	未払法人税等	345	1,038
繰延税金資産	341	407	繰延税金負債	—	2
その他	285	398	賞与引当金	663	699
貸倒引当金	△53	△11	返品調整引当金	99	155
			その他	1,666	3,312
固定資産	26,722	28,920	固定負債	7,812	8,859
有形固定資産	23,871	25,795	長期借入金	604	870
建物及び構築物	5,909	4,990	リース債務	259	268
機械装置及び運搬具	5,238	3,899	繰延税金負債	1,060	1,305
土地	12,197	13,994	再評価に係る繰延税金負債	789	1,317
リース資産	56	53	退職給付に係る負債	4,710	4,676
建設仮勘定	18	2,335	資産除去債務	205	215
その他	449	522	その他	182	204
無形固定資産	440	415	純資産の部	26,445	24,830
投資その他の資産	2,410	2,709	株主資本	24,363	21,536
投資有価証券	2,061	2,328	資本金	6,673	6,673
長期貸付金	—	14	資本剰余金	2,174	2,174
繰延税金資産	64	63	利益剰余金	16,080	12,752
その他	286	306	自己株式	△565	△63
貸倒引当金	△2	△3	その他の包括利益累計額	2,082	3,294
資産合計	45,858	48,677	その他有価証券評価差額金	556	748
			繰延ヘッジ損益	△10	△6
			土地再評価差額金	1,400	2,369
			為替換算調整勘定	242	362
			退職給付に係る調整累計額	△106	△179
			非支配株主持分	0	0
			負債純資産合計	45,858	48,677

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	2015年4月1日～ 2016年3月31日	2014年4月1日～ 2015年3月31日
売上高	38,117	41,173
売上原価	25,546	27,549
売上総利益	12,571	13,623
販売費及び一般管理費	8,946	9,257
営業利益	3,624	4,366
営業外収益	350	395
受取利息	3	3
受取配当金	41	38
固定資産賃貸料	237	206
その他	68	145
営業外費用	250	289
支払利息	69	90
固定資産賃貸費用	74	80
その他	107	118
経常利益	3,724	4,471
特別利益	388	1
固定資産売却益	388	1
投資有価証券売却益	—	0
特別損失	352	672
固定資産処分損	56	117
減損損失	293	516
その他	3	38
税金等調整前当期純利益	3,760	3,800
法人税、住民税及び事業税	1,354	1,681
法人税等調整額	△608	△262
当期純利益	3,015	2,382
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する当期純利益	3,015	2,382

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	2015年4月1日～ 2016年3月31日	2014年4月1日～ 2015年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,507	5,513
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,224	△3,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,356	△1,017
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66	92
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	860	1,129
現金及び現金同等物の期首残高	3,239	2,109
現金及び現金同等物の期末残高	4,099	3,239

トピックス

Topics 1

研磨材事業

あしたの産業を切り拓く力に

オフィスや工場だけでなく、あらゆるモノがICチップや各種センサーでネットワークされる社会。IoT (Internet of Things、モノのインターネット) が注目を集めています。例えば自動車では、周辺車両等との情報交換が始



まれば、さらに安全性、快適性が向上し、自動運転の実用化も現実性を帯びてきます。フジボウ愛媛(株)の超精密加工用研磨材は、これらを支える最先端の各種半導体やセンサーの製造工程でも用いられます。

技術革新が速いITデバイス製造では、多岐にわたる技術分野で各

社がしのぎを削っています。フジボウ愛媛(株)は常に業界の最新情報をウォッチするとともに、お客様のニーズにオーダーメイドで取り組み、最適な研磨プロセスを迅速に提案してきました。

このような対応が評価され、多くの企業からサプライヤーアワード(優れた資材を供給する企業に与えられる賞)を頂戴しています。今後もお客様満足の向上を第一に掲げ、研磨材の事業拡大に努めます。



Topics 2

化学工業品事業

企業名を柳井市武道館に命名

「FUJIBO柳井化学武道館」と命名された施設が山口県柳井市に誕生しました。

フジボウグループの基幹会社として化学工業品事業を担う柳井化学工業(株) (山口県柳井市) は、1938年に創業し、以来80年近くにわたり、柳井市ならびに市民の皆様のご協力を頂き、大きく業容を拡大してきました。昨年の新工場完成を機に、今後も市民の皆様に愛される企業となるべく地域貢献の一助として、今年3月に3年間の施設命名権を取得しました。

同武道館は、2014年11月にオープンし、剣道場2面、柔道場2面などを備え、開館後の約1年3か月で柔道、剣道、合気道などで約2万3千人が利用する青少年育成

活動の拠点であり、「柳井」の名を冠した企業の命名権取得は柳井市より歓迎されています。

柳井化学工業(株)は、化学・医薬・電子材料などの大手メーカーの委託を受けて、各種有機化学合成品の中間体を製造しており、安全・環境を第一に、社会とともに成長することに努めてまいります。



井原市長(右)との調印式



Topics 3

繊維事業

B.V.D.が140周年キャンペーン中

B.V.D.は、1876年にアメリカ・ニューヨークで誕生し、今年140周年を迎えました。日本では日本人の感性に合わせた高品質な肌着ブランドとして、時代に合わせて進化・発展してきました。



「後ろからついてきたのは140年の歴史」「前へ進む人に本物の強さを」。140年の伝統とともに、弛まない進化をアピールするキャンペーンを各種メディアで展開しています。そのスローガンは“Next to You and Myself, B.V.D. (B.V.D.はいつもあなたと私と共に)”。素材からこだわったメンズ、レディ

スの幅広い商品展開で、男女に愛される“シンプルで機能的”なブランドをアピールしています。

メンズインナーではお客様から変わらぬご愛顧を頂いている定番品の充実、レディスインナーでは好調なスポーツシリーズの機能性、デザイン性の向上を図るため、紡績から編立、縫製と全てにフジボウクオリティを追求した新商品開発を強化しています。また、インターネット販売やTVショッピングでの販売など、販売チャネルの多様化にも対応し、ブランド価値をさらに向上させる販売促進に取り組んでいます。



Topics 4

不動産活用

生まれ変わる豊浜。メガソーラーへ

フジボウテキスタイル(株)の豊浜工場跡地(香川県観音寺市)が大規模太陽光発電所(メガソーラー)に生まれ変わりました。

四国一円で太陽光発電事業を展開する(株)ヨンコーソーラーが事業主体となって手掛けたもので、同社に賃貸された約5万坪もの敷地にソーラーパネル5万枚が設置され、発電容量約1万2500kW、年間発電電力量約1300万kWh規模の発電が3月から開始されました。

わが国では電力自由化が進む一方、電源の多様化が求められています。「サンシャインパーク豊浜」と命名されたメガソーラーは、香川県内で最大級となり、環境にやさしいクリーンなエネルギーとして、四国電力管内で

の電力の安定供給が期待されています。

フジボウグループは、これからも保有する不動産の潜在価値を引き出し、有効活用を図るとともに、地域社会の発展に役立てる取組みを進めます。



サンシャインパーク豊浜



会社概要 (2016年3月31日現在)

商号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大阪支社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設立	1896年3月24日
資本金	66億7383万2000円
従業員数	単体87名 連結1,446名
主要な事業内容	1. 各種繊維製品の製造、加工、販売 2. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 3. 各種化学工業品の製造、加工、販売

連結対象会社 (2016年3月31日現在)

■ 繊維事業

フジボウテキスタイル (株)
 タイフジボウテキスタイル (株)
 (株) フジボウアパレル
 フジボウトレーディング (株)
 (株) フジボウソーイング
 (株) サドソーイング
 富士紡服飾股份有限公司
 富士紡 (常州) 服装有限公司
 ジンタナフジボウコーポレーション
 アングル (株)
 富士紡 (上海) 商貿有限公司
 フジボウ愛媛 (株)
 三泰貿易 (株)

■ 研磨材事業

フジボウ愛媛 (株)
 富士ケミクロス (株)

■ 化学工業品事業

柳井化学工業 (株)

■ その他の事業

フジボウテキスタイル (株)
 フジボウ愛媛 (株)
 三泰貿易 (株)
 富士化工 (株)
 豊門商事 (株)

役員 (2016年6月29日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	中野光雄
代表取締役 専務執行役員	青木隆夫
取締役 専務執行役員	吉田和司
取締役 上席執行役員	小林敏彦
取締役 上席執行役員	大久保制宇
取締役	中野雅男
取締役	茅田泰三
常勤監査役	松尾弘秋
常勤監査役	大西秀昭
監査役	飯田直樹
監査役	百瀬一夫

(注) 1. 取締役の中野雅男、茅田泰三の両氏は社外取締役であります。
 2. 監査役の大西秀昭、飯田直樹、百瀬一夫の3氏は社外監査役であります。

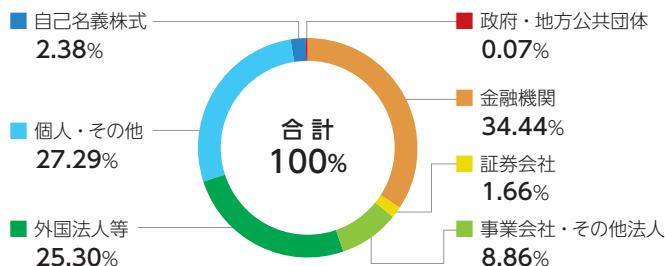
執行役員 (2016年6月29日現在)

上席執行役員	木原勝志
上席執行役員	小林智之
上席執行役員	藤岡敏文
上席執行役員	北口保
執行役員	鈴木眞
執行役員	野口篤謙
執行役員	岡田祐明

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	117,200,000株
株主数	8,929名

所有者別分布状況

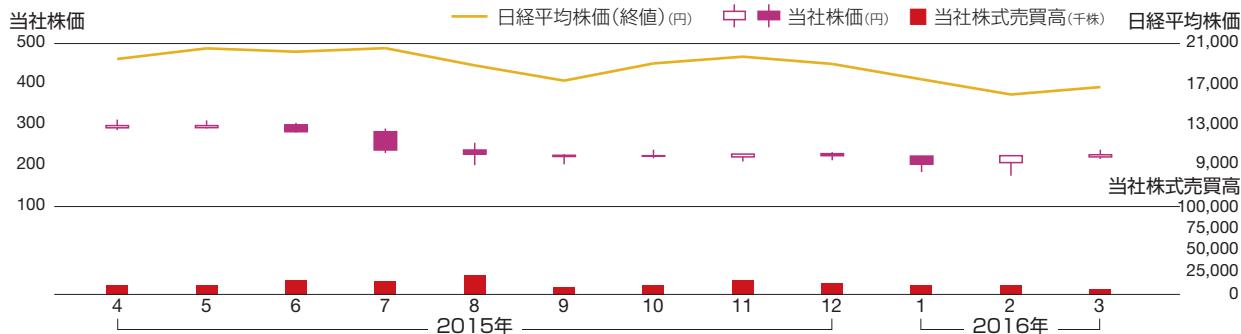


大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	8,567,000	7.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,109,000	6.21
明治安田生命保険相互会社	5,335,000	4.66
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,000,000	4.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,554,000	3.98
三菱UFJ信託銀行株式会社	3,225,000	2.81
フジボウ共栄会	2,814,000	2.45
JP MORGAN CHASE BANK 380634	2,630,000	2.29
福岡 務	2,062,000	1.80
旭硝子株式会社	2,000,000	1.74

(注) 1. 当社は自己株式を2,794,407株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.fujibo.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告
によることができない場合は、東京都において
発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12
TEL 03-3665-7777(代)



<http://www.fujibo.co.jp/>

